総会プログラム

（久留米大学医学部 教育１号館）

第1日目　7月25日(土)午前

9:30～	受付開始	5階　ホール
10:00～10:30	理 事 会	4階　1415
10:30～11:00	評議員会	4階　1414
11:00	開会の辞	＜第1会場＞ 5階　1502

○　学会長講演　　１１：００～１２：００（第１会場：５階・１５０２）

健康格差社会への対応～HIA (Health Impact Assessment)の活用～

石竹　達也（久留米大学 医学部　環境医学講座 教授）

座長 ： 垰田　和史（滋賀医科大学　社会医学講座　衛生学部門　准教授）

（１２：００～１３：００　　昼　　食　　）

第1日目　7月25日(土)午後

○　特 別 講 演　　１３：００～１４：００（第１会場：　５階・１５０２）

健康格差の縮小を目指して～『健康の社会的決定要因』と健康格差を巡る動向～

近藤　克則(千葉大学予防医学センター　環境健康学研究部門　教授)

座長 ： 石竹　達也（久留米大学 医学部　環境医学講座 教授）

○　教 育 講 演　1　　１４：００～１５：００（第１会場：　５階・１５０２）

地域包括ケア時代と公衆衛生～生活に戻すための医療の推進～

櫃本　真聿(愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター　准教授)

座長 ： 福本　久美子(九州看護福祉大学 看護福祉学部 看護学科 教授)

○　教 育 講 演　2　　１５：００～１６：００（第１会場：　５階・１５０２）

住環境が居住者の血圧・活動量・諸症状に与える影響に関する介入調査の概要

伊香賀　俊治(慶應義塾大学　理工学部 教授)

座長 ： 市場　正良 （佐賀大学医学部 社会医学講座 教授）

○　教 育 講 演　3　　１６：００～１７：００（第１会場：　５階・１５０２）

被爆者の心の傷を追って

中澤　正夫 （代々木病院 精神科）

座長 ： 田村　昭彦 （九州社会医学研究所 所長）

第1日目 7月25日(土)午後

○ 一 般 講 演（A） １４：００～１７：００（第３会場：４階・１４０１）

セッション A－1 *14:00～15:00*

座 長 森松 嘉孝（久留米大学 医学部 環境医学講座）

A-1-1	**社会調査実施時における追跡調査同意群と非同意群の回答傾向** ○上田菜央、岩垣穂大、扇原 淳（早稲田大・社会医学)、加瀬裕子（早稲田大・高齢者福祉)
A-1-2	**カネミ油症の医学をめぐって** ○下田 守（下関市立大学名誉教授）
A-1-3	**住みたくなる地域づくり戦略の検討-過疎地域の健康と互助からの考察-** ○須永恭子、立瀬剛志、藤森純子（富山大学・地域連携推進機構)、小林俊哉（九州大学)、山田広明（北陸先端科学技術大学院大学）
A-1-4	**英国の「Public Health」と日本の「公衆衛生」の社会医学的考察** ○高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部）

セッション A－2 *15:00～16:00*

座 長 黒田 研二（関西大学 人間健康学部）

A-2-1	**特定機能病院の高度救命救急センターに搬送される高エネルギー外傷患者・家族と医療ソーシャルワーカー間における支援展開のプロセス** ○田川雄一（広島大学病院 患者支援センター)、眞砂照美（広島国際大学 医療福祉学部）
A-2-2	**異分野連携に基づく地域健康政策での健康影響評価の効果と課題－富山県「ふなはしむら健康構想」ワークショップより－** ○立瀬剛志、須永恭子、藤森純子（富山大学・地域連携推進機構)、小林俊哉（九州大学)、山田広明（北陸先端科学技術大学院大学）
A-2-3	**情報の非対称性の解消に向けた公共図書館の医療情報サービスの取り組み** ○西河内靖泰（全国肝臓病患者連合会/広島女学院大学・図書館学)、石井保志（健康情報棚プロジェクト/医科大学図書館員）
A-2-4	**持続可能な地域包括ケアに向けたヘルスプロモーション活動:第一回みかじま健康まつりの報告** ○竹田元気、横内亮貴、森佳奈子（早稲田大学人間科学部)、山口直彦（山口歯科クリニック)、扇原 淳（早稲田大学人間科学学術院)、みかじま健康まつり実行委員会

セッション A－3 *16:00～17:00*

座 長　山崎 喜比古（日本福祉大学 社会福祉学部）

A-3-1	**海外における HPV ワクチン副反応被害報告と補償・訴訟の実態（第 3 報）** ○片平洌彦、榎 宏朗（健和会 臨床・社会薬学研究所）
A-3-2	**生命表～薬害 HIV 感染被害者の平均余命の推定** ○久地井寿哉、柿沼章子、大平勝美（社会福祉法人 はばたき福祉事業団）
A-3-3	**B 型肝炎被害者の就労困難による「存在の剥奪」** ○岡 多枝子（日本福祉大学・社会福祉学)、三並めぐる（広島国際大学・看護学)、越田明子（長野大学・社会福祉学）
A-3-4	**集団予防接種等による HBV 感染女性の妊娠・出産・育児体験とその支援** ○三並めぐる（広島国際大学・看護学部)、岡 多枝子（日本福祉大学・社会福祉学部)、越田明子（長野大学・社会福祉学）

○　一 般 講 演（B）　１４：００～１７：００（第４会場：４階・１４０２）

セッション B－1 *14:00～15:00*

座 長　小橋 元（獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座）

B-1-1	**若年貧困層の生活史と支援体験に関する考察－京都市の「一時生活支援事業」利用者調査から－** ○加美嘉史（佛教大学・社会福祉）
B-1-2	**「貧困と子どもの健康」新生児の社会経済的背景について** ○山口英里（千鳥橋病院・小児科)、和田 浩（健和会病院・小児科)、佐藤洋一（生協こども診療所)、武内 一（佛教大・社会福祉学部）
B-1-3	**「貧困と子どもの健康」外来診療での子育て世代実情調査について** ○佐藤洋一（生協こども診療所)、和田 浩（健和会病院・小児科)、山口英里（千鳥橋病院・小児科)、武内 一（佛教大学・社会福祉学部）
B-1-4	**「貧困と子どもの健康」入院診療での子育て世代実情調査について** ○武内 一（佛教大学・社会福祉学部)、和田 浩（健和会病院・小児科)、山口英里（千鳥橋病院・小児科)、佐藤洋一（生協こども診療所）

第1日目 7月25日(土)午後

セッション B−2 *15:00〜16:00*

座 長　星　旦二（首都大学東京　都市環境学部　大学院・都市システム科学専攻）

B-2-1	**被爆体験者に生じた、原爆被爆急性症状をはじめとする健康被害の実態** ○松延栄治、菅 政和（長崎県民主医療機関連合会）

B-2-2	**福島・甲状腺癌の放射線無関係論に不都合な５つの事実の考察** ○郷地秀夫（兵庫民医連・東神戸診療所）、橘 真矢（兵庫民医連・東神戸病院・放射線科）

B-2-3	**玄海原発と白血病の関連の検討** ○森永 徹（元純真短期大学・健康科学）

B-2-4	**原発事故の避難指示解除に伴う帰還者と「新たな自主避難者」の課題** ○岩垣穂大（早稲田大・社会医学）、辻内琢也（早稲田大・医療人類学）、小牧久美子（早稲田大・医療人類学）、福田千加子（早稲田大・生命倫理学）、赤野大和（早稲田大・医療人類学）、持田隆平（早稲田大・発達行動学）、石川則子（早稲田大・環境心理学）、桂川泰典（早稲田大・臨床心理学）、増田和高（鹿児島国際大・社会福祉学）、根ヶ山光一（早稲田大・発達行動学）、小島隆也（早稲田大・環境心理学）、熊野宏昭（早稲田大・行動医学）、扇原 淳（早稲田大・社会医学）

セッション B−3 *16:00〜17:00*

座 長　武内　一（佛教大学 社会福祉学部）

B-3-1	**在宅高齢片麻痺者の廃用症候群に対する予防福祉学的アプローチ** ○眞鍋克博(帝京科学大学・老年学)、榎 宏朗(帝京科学大学・高齢者保健学)、 片平 冽彦（健和会 臨床・社会薬学研究所）

B-3-2	**独居男性の在宅療養に関わって〜在宅死の選択をささえたもの〜** ○仙元 藍、谷生淳、岡田千恵、伊庭あゆ美、安西洋子、松田光恵、梅田道子 （NPO 法人 訪問看護ステーションひなた）

B-3-3	**高齢者施設の住環境と住居者の健康状態及び職員の働く実態に関する研究** ○高 燕（浙江工商大学）、藤井暢弥（首都大学東京）、星 旦二（首都大学東京）、 伊香賀俊治（慶應義塾大学）、伊藤史子（首都大学東京）、安藤真太朗（北九州市立大学）、白石靖幸（北九州市立大学）、樋野公宏（東京大学）、川久保俊（法政大学）、櫻井尚子（東京慈恵会医科大学）、徳田 武（株式会社ライフ出版社）

B-3-4	**退職後の暮らしを支える知識創造の場設定の課題−ケアウィル実践研究より−** ○藤森純子、立瀬剛志（富山大・地域医療・保健支援部門）、中森義輝（北陸先端科学技術大学院大学）、永田勝太郎（国際全人医療研究所）、本田 徹（ほんだクリニック）、鏡森定信（富山大）

第1日目　7月25日(土)午後

17:15～19:00　　情報交換・交流会　　（1階　学生サロン）

参加費:4，000円　（5階　総合受付にて事前にお申込みください。）

久留米観光コンベンション国際交流協会よりコンベンション開催支援をいただきまして、当日は久留米市の郷土芸能（筑後酒造り唄）をご披露いたします。

≪筑後酒造り唄≫

筑後地方は灘・伏見と並んで日本三大酒どころと言われ、三潴杜氏の本場であります。これら杜氏が歌う作業歌が『筑後酒造り唄』であります。三潴の杜氏は、冬期は九州各地の造り酒屋に出向いて働きました。

明治１７年に酒造りの製法を摂津の灘に学びましたが、灘の水が硬水で筑後川の水が軟水だったため失敗。その後軟水製法を研究して今日に及んでいます。この製法技術の指導を受けた折酒造り唄も一緒に習い覚えたものであります。

歌の節回し等は、灘の酒造り唄に比べ九州人独特の力強い節回しに変わり、現在の尺八唄には中園牧司・池口森雄の両氏により整えられたものであります。

第2日目　7月26日(日)午前

8:30～　　受付開始　　（5階 ホール）

○　シンポジウム　　９：００～１１：００（第１会場：５階・１５０２）

危機にある子どもと家族を支援する　―子どもの健康を阻む社会的要因と家族―

座 長: 山本　裕子 （福岡市子ども家庭支援センター「SOS 子どもの村」センター長）

舟越　光彦（九州社会医学研究所　副所長）

S-1	こどもの虐待の予防　「特定妊婦」なかでも若年の母へのサポートについて 正木 公子（千鳥橋病院小児科）
S-2	ＤＶ家庭で育つ子どもと母親への支援 石橋 典子(Support of the Child)
S-3	福岡市の『社会的養護あり方検討会』が捉えた子どもと家族の危機 松﨑 佳子（九州大学 人間環境学 研究院 ）
S-4	子どもの権利としての「遊び」・心のケアとしての「遊び」 橋本 愛美（SOS 子どもの村 JAPAN）

○　ミニシンポジウム　　１１：００～１２：００（第２会場：５階・１５０１）

労災・職業病と公害－三池・水俣にまなぶ－

座 長: 田中　智子 （佛教大学 社会福祉学部）

シンポジスト ：
織田　喬企（元三池炭鉱労働者）
山下　善寛（元新日本窒素労働者）

ミニシンポジウムでは労災・職業病と公害の原点である三池と水俣をとりあげ、①参加者がこれらを学ぶきっかけをつくる、②教訓を今後にいかせるよう将来を展望する、機会にしたいと考えています。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

（１２：００～１３：００　　昼　　食　　）

総 会・行 事・奨励賞表彰　　（第1会場:5階・1502）

第2日目　7月26日(日)午後

○　ＨＩＡワークショップ　　１３：００～１６：００（第５会場：４階・１４１４）

進 行:渡辺 裕晃(大牟田市役所)

最近ではあらゆる格差の拡大が懸念されており、政策・施策・事業が、住民の幅広い意味での健康（健康、福祉、生活など） にどのような影響を与えるかを様々な角度から評価し、ポジティブな影響を増進し、ネガティブな影響を低減する情報を政策等の決定者に提供するためのツールである「健康影響予測評価(HIA:Health Impact Assessment)」が開発され、欧州諸国（EU）を中心に世界各国に徐々に広がりを見せ、日本でも少しずつ知られるようになってきました。また、人々の健康は、医療や保健政策のみならず、雇用、教育、住宅、食料、環境、経済などさまざまな分野の政策によって大きく影響を受けます。しかしながら、保健医療政策以外の政策分野において、健康に関する配慮を求める機会は限られています。そこで、特に保健医療政策以外の政策分野において、健康配慮を求める社会的なメカニズムとしてHIA が発展してきました。

このようななか筆者らは行政職員有志と大学関係者で、HIA を適用するかどうかをスクリーニングするためのHIA スクリーニングチェックリスト（以下 HIACL）の開発のための勉強会を立ち上げ、具体的な事業をHIACL に模擬的に当てはめて試行と改良を繰り返しながら、HIACL を開発しました。

HIA ワークショップでは、参加者のみなさまに10 人程度のグループに分かれていただき、実際の事例を用いながら、HIACL を体験していただき、HIA やHIACL の活用方法などについて幅広くディスカッションしたいと考えています。

第2日目 7月26日(日)午前

8:30～　　受付開始　　(5階 ホール)

○ 一 般 講 演 (A)　　9：00～12：00 (第3会場：4階・1401)

セッション A－4　　***9:00～10:00***

座 長　道端 達也 (玉島協同病院)

A-4-1	**高原野菜栽培農家における安全衛生の課題** ○垰田和史、辻村裕次、北原照代 (滋賀医大・社会医学講座衛生学部門)
A-4-2	**零細印刷工場における有機溶剤暴露対策の経験 (産業医活動5年間のまとめ)** ○樋端規邦 (徳島・健生石井クリニック)
A-4-3	**大企業勤務者における毎日の歯磨きの回数と生活習慣病リスクファクターとの関連** ○岡田栄作 (浜松医大・健康社会医学)、長嶋春樹 (浜松医大)、下村麻衣子 (浜松医大)、柴田陽介 (浜松医大・健康社会医学)、中村美詠子 (浜松医大・健康社会医学)、尾島俊之 (浜松医大・健康社会医学)
A-4-4	**石川県内の中小企業団体における産業保健の取り組み状況** ○森河裕子 (金沢医科大・看護学部)、田畑正司 (石川県予防医学協会)、城戸照彦 (金沢大学医薬保健研究域)、竹口彰夫、小山善子 (石川産業保健総合支援センター)

セッション A－5　　***10:00～11:00***

座 長　中村 賢治 (大阪社会医学研究所)

A-5-1	**過労死等防止対策推進法の成立とその実体化に向けて(試論)** ○色部 祐(働くもののいのちと健康を守る東京センター)
A-5-2	**医療・福祉職における離職とその関連要因** ○上原尚紘(医療法人社団いずみ会北星病院)、志渡晃一、西 基(北海道医療大学看護福祉学研究科)、三宅浩次(北海道産業保健総合支援センター)
A-5-3	**労働者による職場のメンタルヘルス** ○藤野ゆき (常磐会短期大学)
A-5-4	**何故、彼は机の上に足を載せてPCを操作し続けてきたのか？** ○ 辻村裕次、垰田和史 (滋賀医大・衛生学)、白星伸一 (佛教大・理学療法学)、北原照代 (滋賀医大・衛生学)

第2日目 7月26日(日)午前

セッション A－6 ＊このセッションのみ終了時間が異なります。 ***11:00～12:15***

座 長 高鳥毛 敏雄（関西大学社会安全学部・社会安全研究科）

A-6-1	地域住民の QOL 規定要因に関する検討（１）: 職業性ストレッサーおよび社会的ストレッサーが QOL に及ぼす効果の構造分析 ○田中健吾、高原龍二（大阪経済大学 経営学部）

A-6-2	地域住民の QOL 規定要因に関する検討（２）: QOL 規定要因の地域性 ○高原龍二、田中健吾（大阪経済大学 経営学部）

A-6-3	A Study of Support System Towards Foreign Careworkers in Japan ○Queri,Imelda（社会福祉法人江寿会ケアハウス・アゼリーアネックス、立教大学院コミュニテイ福祉学研究科）

A-6-4	慢性心疾患有病者における QOL 維持・向上の関連構造 ○久保美紀(帝京科学大学 医療科学部)、山下香枝子(聖隷クリストファー大学看護学部)、星 旦二（首都大学東京 都市科学研究科）

A-6-5	初診時に StageⅢ以上の進行・再発乳癌患者が抱える諸問題について ○高崎恵美（千鳥橋病院・乳腺外科）

（１２：１５～１３：００ 昼 食 ）

総 会･行 事･奨励賞表彰 （第1会場:5階1502）

第2日目 7月26日(日)午前

8:30～　　受付開始　　(5階 ホール)

○ 一 般 講 演 (B)　　9：00～12：00 (第4会場：4階・1402)

セッション B−4　　***9:00～10:00***

座 長　櫻井 尚子 (東京慈恵会医科大学 大学院)

B-4-1	**地域包括支援センターにおける認知症支援実践とその関連要因** ○黒田研二、澤田有希子 (関西大学人間健康学部)、花家 薫 (堺市長寿社会部高齢施策推進課)
B-4-2	**肢体障害者の二次障害予防実践報告—老年期を迎える肢体障害者が抱える課題—** ○白星伸一、越智淳子 (佛教大学・保健医療技術学部)、垰田和史、辻村裕次、 北原照代 (滋賀医科大学・社会医学講座)
B-4-3	**ビジュアルマニュアルを用いた高齢者介護施設感染対策研修システムの提案** ○松下幸平、青地ゆり、李墨淵、竹田元気 (早稲田大・社会医学)、山路 学 (早稲田大・人総研)、山田文也、斎藤章暢、岸本 剛 (埼玉県衛生研究所)、扇原 淳 (早稲田大・社会医学)
B-4-4	**特別養護老人ホームにおける感染症対策の課題：内容分析による検討** ○青地ゆり、松下幸平、大浦絢子 (早稲田大・人間科学研究科)、篠田大希 (早稲田大・人間科学部)、斎藤章暢、岸本 剛 (埼玉県衛生研究所)、扇原 淳 (早稲田大・人間科学学術院)

セッション B−5　　***10:00～11:00***

座 長　市場 正良 (佐賀大学医学部 社会医学講座 環境医学分野)

B-5-1	**「調和的問題解決能力」の育成を目的とした高齢者福祉施設職員対象研修プログラムの開発とその評価** ○原田拓郎 (早稲田大・社会医学、社会福祉法人いい穂会)、山路 学 (早稲田大・社会医学)、西田亜希子、築城康之、藤永あゆみ (社会福祉法人いい穂会)、扇原 淳 (早稲田大・社会医学)
B-5-2	**富山県内における地域近接型ゲートキーパー養成事業の課題と展望** ○小林俊哉 (九州大学) 立瀬剛志、須永恭子 (富山大学・地域連携推進機構)、塩谷 亨 (金沢工業大学)

B-5-3	富山地域の花粉症対策と空中花粉 ○寺西秀豊（富山医療生活協同組合　富山協立病院）

B-5-4	屋内外の住環境と身体・精神・社会的健康との関連構造-沖縄県Ａ村在住の全高齢者を対象として- ○高城智圭（京都文教大学・臨床心理学部）、栗盛須雅子（聖徳大学・看護学部）、高 燕（首都大学東京・都市環境科学研究科）、平良一彦（名桜大学・総合研究所）、浦崎 猛（沖縄県立芸術大学）、尾尻義彦（琉球大学・医学部）、小川寿美子（名桜大学・人間健康学部）、石川清和（今帰仁診療所）、藤井暢弥（首都大学東京・都市環境科学研究科）、星 旦二（首都大学東京・都市環境科学研究科）

セッション Ｂ－６　　*11:00～12:00*

座 長　福本 久美子（九州看護福祉大学 看護福祉学部 看護学科）

B-6-1	五感力を活用した療育支援技術に関する研究その２－発達障がい児支援に関する調査結果を中心に－ ○眞砂照美（広島国際大学・医療福祉）

B-6-2	深夜の街の思春期の少年たちへの聴き取り調査における方法論的考察 - A minority group and/or a vulnerable group? ○田中 勤（総合病院南生協病院産婦人科、名市大・自然科学）、古橋忠晃（名大・精神健康医学）、大坂裕子（駒沢女子大・健康栄養）、藪下ももこ（名大・保健）、秋田智哉（NGO 少年支援保健委員会・Public Health）、青木美樹（滋賀県立大・人間看護）

B-6-3	医療福祉系高等教育機関に所属する学生のひきこもり親和性と関連要因の検討 ○米田政葉、志渡晃一(北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科)

B-6-4	若年妊産婦からみえる貧困～医療ソーシャル･ワーカーの視点から～ ○伊規須朋子、岩城敦之、大曲美潮、木村美由紀、栗山未央、下大薗未希、松浦翔平、宮原 楽、舟越光彦（千鳥橋病院）、安武まみ（福岡市スクールソーシャル･ワーカー）

（１２：００～１３：００　　昼　食　　）

総 会･行 事･奨励賞表彰　（第1会場:5階･1502）

第2日目 7月26日(日)午後

○ 一 般 講 演（A） １３：００～１５：００（第３会場：４階・１４０１）

セッション A－7 ***13:00～14:00***

座 長 波川 京子（川崎医療福祉大学 保健看護学科）

A-7-1	**島根県における近代産婆制度運用に関する研究** ○宮本恭子(島根大学・法文学部)

A-7-2	**地域づくりを推進する保健活動の事業効果と保健師の役割について** ○梶西祐子、渡辺千鶴、柚木聡子、大村千晴（呉市保健所健康増進課）

A-7-3	**マターナルアイデンティティ獲得を促す助産師の援助** ○小野智佐子（東洋大学大学院社会学研究科、国際医療福祉大学）

A-7-4	**ハローワークで行った司法書士・保健師・精神保健福祉士による「生活・法律・こころの相談会」** ○野口晶子、田中優紀、江上有佳、大津 香、山口はるか、月足利枝、田原由起子、藤島喜久子、浦部富士子、笠 幸則、宮本敬子、星子美智子（久留米市保健所）

セッション A－8 ***14:00～15:00***

座 長 柴田 英二（愛知医科大学 医学部 衛生学講座）

A-8-1	**色覚検査は「行動制限予測」検査であってはらなない** ○高柳泰世（本郷眼科・神経内科、藤田保健衛生大学)、宮尾 克（名古屋大学）

A-8-2	**40 歳以下 2 型糖尿病患者の臨床像に関する多施設調査(MIN-IREN T2DMU40 Study) -多重ロジィスティック回帰分析による 1 年後の HbA1c に影響する要因の解析-** ○茹 也寸志（石川勤労者医療協会城北病院内科)、伊古田明美（勤医協中央病院糖尿病内分泌科)、伊藤浩一（中野共立病院内科)、松本 久（わみず病院 内科)、沖本久志（坂総合病院糖尿病代謝科)、清水信明（上伊那生協病院内科)、辻村文宏（医療法人社団田中医院内科)、福田 洋（順天堂大学医学部総合診療科)、舟越光彦（千鳥橋病院内科)、宮城調司（立川相互病院内分泌代謝科)、 三浦次郎（吉祥院病院内科)、大澤さやか（筑波大学総合診療科)、大澤 亮（筑波大学総合診療科） 全日本民医連暮らし・仕事と糖尿病調査班

A-8-3	**カザフスタン共和国における馬乳酒（クムス）の摂取と健康状態との関連** ○扇原 淳、上田菜央、井上明日美、岩垣穂大（早稲田大・社会医学)、AMANTAY Zhanar、KADIKOVA Samal、齋藤 篤（カザフ国立大・東洋学)、SHARMANOV Toregeldy（カザフ国立栄養研究所)、下田妙子（天使大・栄養学）

A-8-4	常設夜間休日 HIV 検査場における 6 年間の受検者から見る性感染症の動向 ○毛受矩子（四天王寺大学・NPO 法人スマートらいふネット)、前川厚子（名古屋大学大学院医学系研究科・NPO 法人スマートらいふネット)、落合世津子（藍野大学・NPO 法人スマートらいふネット）

○ 一 般 講 演（B） １３：００～１５：００（第４会場：４階・１４０２）

セッション B－7 *13:00～14:00*

座 長 黒川 渡（くろかわ診療所）

B-7-1	路上生活者の年末年始医療支援活動で見えたものー『ふとんで年越しプロジェクト 2014』から ○西岡 誠、中村あずさ、高桑郁子、森川すいめい（世界の医療団)、谷川智行（川島診療所)、椎野 綾（東京民医連)、大西 連、松山 晶（認定 NPO 法人自立生活サポートセンターもやい）

B-7-2	シェルター利用者より考察する路上生活者の現状－ふとんで年越しプロジェクト 2013/2014 から ○高桑郁子（横浜国立大学大学院/世界の医療団)、大西 連（もやい)、谷川智行（川島診療所)、中村あずさ（世界の医療団)、西岡 誠（世界の医療団）

B-7-3	当院における無料低額診療制度利用者の実態 ○松浦翔平、伊規須朋子、岩城敦之、大曲美潮、木村美由紀、栗山未央、下大薗未希、宮原 楽、舟越光彦（千鳥橋病院）

B-7-4	ホームレス状態に陥った人を対象としたシェルターの役割とソーシャルワークについての検討-A 市の実践から- ○中野加奈子（大谷大学文学部社会学科）

第2日目 7月26日(日)午後

セッション B－8 ***14:00～15:00***

座 長　志渡 晃一（北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科）

B-8-1	**名古屋市におけるホームレス調査から得られた精神障害、知的障害の有病率** ○渡邉貴博（みどり病院精神科）、西尾彰泰（岐阜大学保健管理センター）、松浦健伸（城北病院精神科）、天笠 崇（代々木病院精神科）、水谷聖子（日本福祉大学看護学部）

B-8-2	**あいりん地区の住民との関わりを通して考える訪問看護職の役割** ○有村祐亮（滋賀県東近江保健所）、太田小百合（藍野大学短期大学部）

B-8-3	**大阪市西成区で潜在性結核感染症(LTBI)の診断・治療を行う多様で重要な意義** ○黒川 渡（くろかわ診療所 医師）、富樫トモ子、岡田広美、安尾 彩（くろかわ診療所 看護師）、川畠 亮、山中小百合、岩戸博子（くろかわ診療所 事務員）、白水倫生（くろかわ診療所 医師）、石原正光（くろかわ診療所 臨床検査技師）、江頭真由美（訪問看護ステーション鶴見橋）、井戸武實（大阪公衆衛生協会事務局長）

B-8-4	**釜ヶ崎で暮らす現野宿者および元野宿者の現在歯数の状況** ○三浦康代（明治国際医療大学）

16:00　　閉会の辞　　（第1会場: 5階･1502）

（学会長 石竹 達也）